

9月
定例会

9/5

9/11

平成29年度 各会計の決算認定

歳出総額で68億5,357万円

特別会計の決算は歳入で23億3,164万円、歳出で21億1,871万円になり、前年度に比べ歳入で5,470万円の増、歳出で5,869万円の増となりました。

**特別会計歳出合計は
21億1,871万円**

平成29年度一般会計の決算は、歳入で50億6,954万円、歳出で47億3,486万円になり、前年対比では歳入で42万円増、歳出で2,892万円減となりました。翌年度に繰り越すべき財源を除き、実質収支額は2億3,768万円の黒字となりました。

**一般会計歳出は
47億3,486万円**

9月定例会は平成29年度各種会計決算に係る報告3件、認定6件のほか、平成30年度各種会計補正予算など承認1件、議案8件、同意案1件が提出されました。

■各会計の決算状況■

(下段は平成28年度の金額 単位：万円)

会 計 別		歳 入	歳 出	歳出前年増減額 及び増減率
一般会計		506,954 506,912	473,486 476,378	-2,892 ▲0.61%
特 別 会 計	国民健康保険	129,201 130,305	111,182 111,572	-390 ▲0.35%
	簡易水道事業	29,788 22,448	29,620 22,214	7,406 33.34%
	農業集落排水事業	11,553 12,525	11,455 12,351	-896 ▲7.25%
	後期高齢者医療	4,660 4,398	4,615 4,387	228 5.20%
	介護保険事業	57,962 58,018	54,999 55,478	-479 ▲0.86%
合 計		740,118 734,606	685,357 682,380	2,977 0.44%

監査委員の決算審査意見(抜粋)

- ①村税の収入未済額は、一般会計特別会計併せて1億2,742万3,000円となっている。検討委員会等を立ち上げる等、問題解決に努めること。
- ②経常収支比率は84.7%（前年度より0.6ポイント上昇）で財政の弾力性の標準75%を超えており、財政構造は硬直化の傾向にある。地方交付税をしっかりと確保することができるよう努めること。
- ③事業を厳選し、村債の抑制に努め、長期的展望に立った財政運営の健全化を図ること。
- ④健全化比率、資金不足比率ともに健全化段階にあるが、その財務の内容を示す指標の経常収支比率は依然硬直化傾向にある。
- ⑤効果的で実効性の高い人材の育成が不可欠である。高度行政能力を最大限に発揮できる組織体制を作り上げ、効率的かつ効果的な財政運営に努めること。

平田村代表監査委員 根本嘉一 ・ 平田村監査委員 根本定雄

平成29年度一般会計は主に こんなことに使われました

高校等通学支援金

(上半期 173 件・下半期 174 件)

1,053万円



ひらた清風中学校建設事業

(校舎・体育館・進入路等)

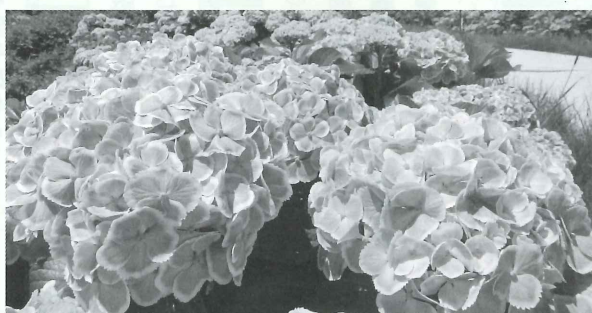
10億 2,458万円



観光振興事業

(あじさい公園整備事業植栽工事等)

9,645万円



高齢者福祉事業

(敬老会・地域福祉センター管理運営等)

3,026万円



道路整備事業

2億 8,118万円



多面的機能支払交付金事業

3,815万円

